

令和 3 年 度

広陵町土地開発公社第 2 回臨時理事会議事録

広陵町土地開発公社

令和3年度広陵町土地開発公社第2回臨時理事会議事録

令和3年10月29日(金) 令和3年度広陵町土地開発公社第2回臨時理事会を広陵町役場2階町長応接室で開催。(開会午前9時55分)

1 出席理事

理事長 松井宏之 理事 青木義勝 理事 植村佳央
常務理事 中川保 理事 奥田育裕 理事 吉田英史 理事 小原薫

2 出席監事

監事 笹井由明

3 出席事務局職員

用地開発課長 山内孝道 用地開発課係長 森正行
用地開発課主事 糀谷直人 用地開発課リーダー 西崎嘉一

4 理事会に提出した議案

(第1号) 代替地の処分方法について

5 その他

・特になし

6 議案審議

(第1号) 事務局から議案について説明を行い、「箸尾準工業地域工場用地造成事業は収支均衡を図れることが大切。代替地の処分の実現性は大丈夫なのか。」との質問があった。

その質問に対し、事務局から、売却価格については、他の地域の宅地価格と比較しても十分に採算がとれ実現性は高いと考えている。その回答に対し、質問者から「実現性から考えて妥当な案だと思うが、何としても塩漬け土地にならないよう取り組んで欲しい。」との意見があった。

続いて、工事費の内訳に関する質問があり、事務局から説明を行った。また、「周辺の土地の相場を把握しているのか。」という質問に対し、事務局から、周辺で売り出されている宅地の価格については把握している旨の回答を行った。

また、理事長から、「コロナ禍のなか、賃金、燃料費や材料費など影響は無いのか。」との質問に対し、事務局から、特に、鋼材の市場価格が気になるが、経費の節減に努めざるを得ないと回答があった。

さらに、理事から「本格的な工事に入り、騒音問題や交通問題など特に県道付近の工事であり、周辺の人への影響も出てくるので事前説明し

て注意して進めて欲しい。」との意見がだされた。

最後に、事務局から「公告開始までに、販売区画の変更等を行わなければならない可能性があり、その場合の対応は、理事長へ一任いただく。」ことを求めた。

以上で、議長から、議案審議が諮られ、異議はなく承認された。

続いて、議長からその他の質疑がないかを諮ったが、質問等がない旨の回答があったため、議長から理事会閉会の宣言があった。

(閉会午前10時38分)

以上のおり、令和3年度広陵町土地開発公社第2回臨時理事会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び出席者2名が署名する。

令和3年10月29日

議長 松井 宏之



署名人 青木 義勝



署名人 中川 保

